

就農を目指して

就農とは：農業を仕事にすることです。就農には次の3つの形態があります。

①雇用就農：農業を行っている農業法人(会社)に就職して農業に取り組む者。

※実家が農家でなくても農業が始められるため、本校で農業の知識、技術を身に付けて、雇用就農する方が多くいます。

②自営就農(親元就農)：農家の世帯員で、自営農業に従事する者。

③新規参入(自立就農)：農地を取得し、新たに農業経営を開始する者。

※就農には「技術(ひと)、農地、機械、施設(もの)、資金(かね)」が必要となるため、卒業後、雇用就農や現地研修で経験を積むなどの準備が必要となります。

就農までの道のりと支援内容

：本校では、学生が就農を目指せるよう、様々な支援を行っています。

区分	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	卒業後
	4 5 6 7 8 9	10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9	10 11 12 1 2 3	
雇用就農	●農業技術・知識を学ぶ ●将来の夢・目標を定める ●免許資格の取得[自動車・トラクターなど] ●求人票・各種就職支援サイト等情報収集 ●説明会・インターンシップ等への参加 ●就職活動解禁(3月以降) ●内々定 ●就農先内定				
自営就農・新規参入	●農業技術・知識を学ぶ ●将来の夢・目標を定める ●免許資格の取得[自動車・トラクターなど] ●就農計画の検討(どのような農業をしたいのか) (栽培品目、やりたい農業形態、栽培計画、資金計画の検討、習得予定の技術確認) ●就農計画・経営計画の策定 ●家族との話し合い(経営移譲や経営分離、新規部門などの検討…自営就農) ●就農に向けての調整(市町村・農業委員会との相談) ●認定新規就農者の検討				【例示】 ●雇用就農や研修経てからの就農 ●農地貸借の調整確保 ●居住地確保 ●地域住民と関係構築 ●資金確保
本校の主な支援内容	【技術・知識の習得】 ■農業関係専門講座(講義及び実習)での専門知識・技術の習得 ■農業現場との連携による実践的な実習(農業派遣実習等) 【免許・資格取得】 ■トラクター免許等の就農に必要な免許・資格の取得支援 【就農計画、雇用就農の情報収集】 ■就農計画の策定支援 ■雇用就農や自立就農・自営就農に参考となる現地視察・研修の実施(キャリアサポート実習等) ■農業法人等企業説明会の開催、インターンシップの実施 【農業法人等就農先紹介】 ■無料職業紹介事業による雇用就農先(農業法人)の紹介				【就農後の支援】 ●本県農業事務所(県内10か所)との連携による新規就農者の定着化支援

研究科

- 修業年限…2年
- 定員…各学年20名、計40名
- 入学資格…本校農学科、短期大学卒業程度もしくは同等以上

教育の特色と内容

専門的な農業技術の研究や農業経営手法を学び、農業現場で活躍する人材を育成します。

特色

- 「**模擬会社**」の運営を通じて**生産から販売の過程を総合的に学習**でき、優れた経営感覚を身に付けられます。
- 授業では座学が3割、実習と演習が7割を占め、**実践的な技術や問題解決能力**を高められます。
- 進路・志望に応じた**インターンシップ研修等のキャリア教育が充実**しています。

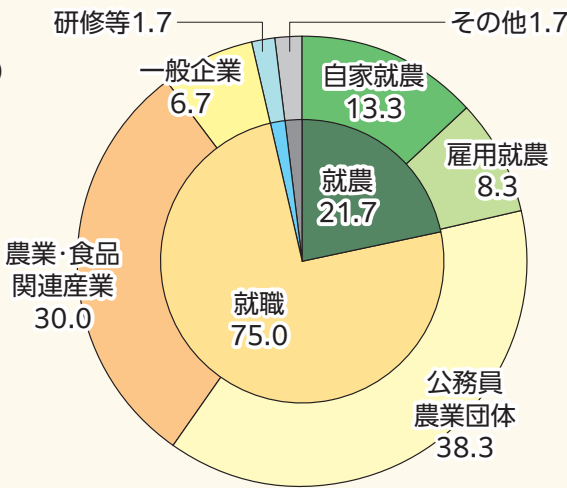
	教 養 科 目	専 門 教 育 科 目				専 攻 科 目
		必 修 科 目		選 択 科 目		
必要 単位数	4単位	59単位		16単位以上		26単位
科 目	実用英語 I、II	農業経営実習 I、II 加工・商品開発演習 I、II インターンシップ研修 キャリア形成講座 販売実践講座	アグリビジネス論 フードシステム論 法人経営論 食品安全とリスク管理論 起業論 等	農業機械学 生物資源利用論 園芸施設論 花き装飾論 生物工学	農政時事 家畜衛生学 家畜解剖学 大家畜論 中小家畜論 等	専攻実習 研究成果 (課題研究)

進路の状況

年度	就農(雇用就農先)	就職(主な就職先)
R4		(農)多古町旬の味センター、(株)関東甲信クボタ、(一社)千葉県農業会議、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、千葉県(上級農業、高校実習助手)
R5	イオンアグリ創造(株)、Jリーフ(株)、(株)ノベルズ	(株)アグリ総研、(株)関東甲信クボタ、ベルグアース(株)、(株)マイファーム、(公財)日本植物調節剤研究協会、愛知県、千葉県(上級農業、農業技術員)
R6	(有)森田洋蘭園	(株)関東甲信クボタ、(社)福祉楽団、(株)シー・アイ・シー、(株)やます、JAちばみどり、千葉県(上級農業)ほか

研究科の進路

(R元～5年 60人)
単位：%



在学生の声



都築 花音

研究科1年 情報経営専攻
(千葉県立幕張総合高校 出身)

私は普通高校出身ですが、祖父母が農家のため幼い頃から農業が身近にありました。その仕事に興味を抱き、また農業系の仕事に就きたいと考えているため、専門性や実践性に富む本校に入学しました。

現在は情報経営専攻教室に所属し、野菜の育て方だけでなく、農業をとりまく経済環境や経営に関することを学び、実践しています。

今後とも知識や技術、経験を養い、将来に役立てたいと思います。